



ステンレス流通加工の本間鋼業（本社・東京都墨田区）の社長に1日付で就いた。社員

自信を持つ。その基盤と言語化し、ブランドには建築金物のユーザの維持を図る。一からの厳しい要望に得意とする曲げや切応え続けた先人たちの断、穴あけなどは人手「汗」がある。「意匠が不可欠な加工領域性が求められる建築金で、費用対効果などの物向けでは曲げの理由で自動化が難しい度、金型の跡などを細い。各社員の職人的技術にわたりチェックさ術を向上させ、サブラ

用する力を持っていないから当社に居てくれるか、そこが経営者としての勝負」と腹をくく

子どもの頃から本間鋼業に顔を出し、当時の社員から可愛がられ通協会主催「秋季親善ゴルフ大会」ではクロス84、ネット73・2で優勝を飾った。

（山口 大智）

## 加工品質・ブランド守る

### 本間鋼業 本間 超氏

#### 略歴

の「物心両面の幸福」を経営理念に据え、安定的で高い製品品質をさらに磨き上げることで社員の給与・幸福度向上につな

れる。営業、加工現場イチェーンの「非自動」が辛酸をなめながら改領域を徹底的に極める善を繰り返し、現在の品質レベルが企業文化として根付いている

ようまで過ごせたのも社員のおかげだったと自負は強い。「社員に足を向けて寝れない。社員たちの人生を最大化することが使命」と語る。「次は僕が恩返しする番」とも。

本間 超氏（ほんまこゆゑ）2012年（平24）明治大政治経済学部卒、三井物産スチール入社。21年本間鋼業入社、23年常務取締役就任。平成元年7月15日生まれ。東京都墨田区出身。

「『本間に任せれば間違いない』。顧客からそう思われるブランド力が最大の強み」と

と説明する。社長就任を機に、安定的な高品質を実現する企業ブランドを「 Teppan 感」はらむが「他社でも通業界の将来を本気で

# 新社長

